

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/10/11号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

一時80ドル到達、OPECプラスは増産加速見送り

NY原油先物相場は、1バレル=79ドル前半まで値上がりする展開になった。10月4日の石油輸出機構（OPEC）プラス閣僚級会合では原油高に対して特段の対策が講じられることはなく、原油相場の値上がり傾向が維持された。急ピッチな価格上昇、米国が価格鎮静化策の協議を開始していること、米原油在庫が2週連続で増加したことで利食い売りから急反落する場面も見られた。しかし、需給ひっ迫見通しから押し目での物色意欲は旺盛であり、10月8日高値は80.11ドルに達している。2014年11月以来の高値を更新した。

OPECプラス会合では、10月に続いて11月も日量40万バレルのペースで減産規模を縮小（＝増産）することが確認された。一部消費国からは増産加速の要請も出ていたが、OPECプラスは今後の需要動向に対して十分な自信を持っておらず、7月合意に沿う形での緩やかな増産対応を継続することになる。マーケットに広がる需給ひっ迫と原油高の危機感への対応がみられず、原油高を加速させた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（10月1日時点）は、原油が前週比235万バレル増、ガソリンが326万バレル増、石油精製品が40万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給引き締まりで押し目買い優勢も、値動きは不安定化し易い

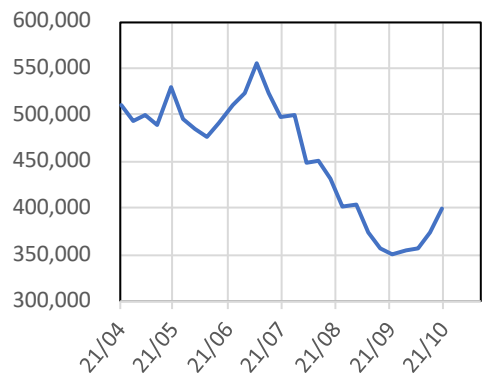
需給ひっ迫化に対する信頼感が維持され、押し目買い優勢の展開が維持されよう。世界的にパンデミックが鎮静化に向かっていることで需要拡大見通しが強化されているが、OPECプラスは増産加速を見送る一方、OPECプラス以外の増産対応も鈍く、年末に向けて需給ひっ迫化が進むとの警戒感が強い。過熱感から前週に続いて乱高下が繰り返され易いが、80ドル台定着を打診する展開になろう。

米原油在庫は2週連続で増加しているが、マーケットでは大きな問題とは評価されていない。製油所メンテナンスの時期で、例年みられる季節傾向になる。原油、石油製品ともに在庫水準は極めて低く、在庫積み増しが更に進めば一時的に売られ易くなるが、需給ひっ迫懸念の解消は難しいだろう。

ガソリン高に対する危機感を強める米国では、グランホルム・エネルギー長官が戦略石油備蓄（SPR）放出、米国産原油の禁輸など、あらゆるツールを検討していることを明らかにした。これらの動きが更に具体化すると原油相場も大きく下押しされる可能性がある。ただ、現時点では実現可能性について懐疑的な見方が強い。一方、イラク石油相が75～80ドルが生産者と消費者の双方にとって適正との見方を示すなど、消費国のみならず産油国も現在の価格水準に対しては居心地の悪さを示し始めていることには注意したい。

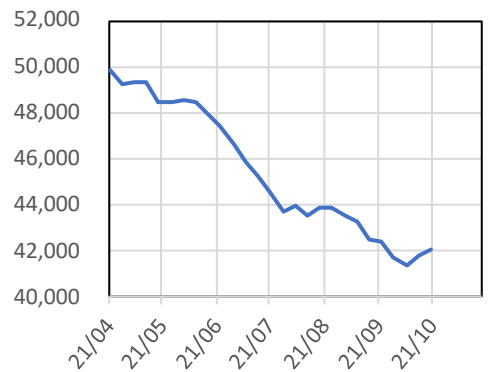
10月13日にOPEC、14日に国際エネルギー機関（IEA）がそれぞれ最新の月報を公表する。そこで需給ひっ迫見通しを更に強めるような動きの有無が注目される。また、13日には中国の9月貿易収支も発表されるため、原油など素材の調達動向、経済見通しに対する評価にも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



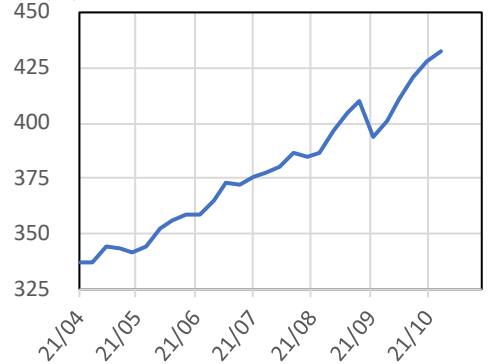
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

